

#### Q4 「地元企業」の情報や魅せ方の工夫

- 社員の方との気軽な交流会や、一部の業務と一緒に体験してみるワークがあれば参加したい。
- 文章よりも動画の方がわかりやすく、社内の雰囲気や様々な部署の紹介動画があれば参考になる。
- オンラインインターンシップで社内の紹介動画を見せてくださった企業があり、雰囲気を感じることができてありがたかった。
- 社員の方の声や活躍する姿、インターンシップに参加し入社された方のお話、実際に作られている製品等について紹介してほしい。
- 働きやすさ、奨学金支援制度や福利厚生、またどんなことに興味がある人におすすめか教えてほしい。
- インターンシップや採用試験等についての具体的な情報を知りたい。
- CSR やSDGs等、力を入れている社会貢献活動や、地域との関わりについて知りたい。
- 明るいイメージが伝わるホームページに惹かれる。
- 「遠方への転勤を避けたい」という声も多いと考えるため、そのエリアにどのような勤務先・支社等があるか、具体的な説明があればありがたい。

# HYOGO INTERNSHIP REPORT 2021

## インターンシップ報告書



### インターンシップ報告書 2021

《発行》兵庫県経営者協会 インターンシップ事務局  
〒650-0034  
神戸市中央区京町 76 番地 2 明海三宮第 2 ビル 2F  
☎ 078-321-0294  
✉ [internship@hpea.jp](mailto:internship@hpea.jp)  
🌐 <https://hyogo-internship.jp>

# インターンシップ事業概要

## 沿革

平成 11～13 年度	労働省（現厚労省）委託事業「インターンシップ導入促進等支援事業」
平成 14～17 年度	厚労省から日本経団連（東京経協）への委託事業「インターンシップ受入企業開拓事業」を再受託
平成 18～19 年度	兵庫労働局委託事業「インターンシップ受入企業開拓事業」 →姫路経協・尼崎経協に各地区の事業を再委託
平成 20～21 年度	（情報提供のみ）
平成 22 年度	兵庫経協独自事業
平成 22 年度（12 月） ～24 年度	兵庫県委託事業「中小企業人材確保インターンシップ事業」
平成 25 年度	兵庫県委託事業「中小企業魅力発見インターンシップ事業」
平成 26 年度 ～令和 3 年度	兵庫県委託事業「大学生インターンシップ推進事業」 →平成 28 年度～ 姫路経協・尼崎経協への再委託により全県下へ推進 →平成 29 年度～ マッチングサイト「兵庫県インターンシップシステム」運用

2021 年度のインターンシップ事業推進にあたり、ご協力を賜りました企業・学校ならびに関係機関の皆様には厚く御礼申し上げます。

インターンシップや就活市場において、インターネットや SNS といったデジタル技術が身近な環境で育った「Z 世代」への対応は、これまで重要とされてきましたが、更にコロナ禍において、その対応はスピードと多様性が求められる状況となっています。

兵庫県経営者協会インターンシップ事務局としても、デジタル技術の活用を進めながら、当会が行うインターンシップの基本でもある①地元企業・働く人の魅力発信、②交流機会の拡充、③多様化する学生への対応、の 3 点を 2022 年度の活動方針に掲げ、ニーズに沿った情報発信や、きめ細やかなサポートを通じて企業⇄学生・学校間の架け橋としての役割を担ってまいります。

今後も更に連携を深めさせていただき、多様化する学生のキャリア支援ならびに地元企業の魅力発信に取り組んでまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## インターンシップ報告書 2021

### Contents

インターンシップ事業概要	P.02
インターンシップ実施状況	P.04
インターンシップ協力企業・学校一覧	P.10
企業・学校・学生アンケート結果	P.12

## 2021 年度 実施概要

### ①実施主体

兵庫県経営者協会、姫路経営者協会、尼崎経営者協会

**連携** 兵庫県、神戸市、兵庫労働局、神戸商工会議所、兵庫工業会、大学コンソーシアムひょうご神戸

### ②対象企業

兵庫県内の企業、行政機関、公共機関など。

### ③対象学生

「兵庫県インターンシップシステム」登録校に在籍している学生。

全国の大学・大学院、短期大学、高等専門学校（4 年生・専攻科生）、専門学校生が対象です。

### ④実施時期・内容

**時期** 通年（推奨期間）【夏期】7～9 月（共通の募集締切を設定 ① 6/4 ② 6/11）【春期】1～3 月

**内容** 就業体験を伴う 2 日間以上のプログラム

※ 2020 年 10 月よりコロナ禍の特例を設定。詳細は当報告書 p3 に記載しています。

### ⑤その他

**補助等** 原則として無報酬ですが、企業によって交通費や昼食などを支給いただく場合があります。各社の受入条件の詳細は「兵庫県インターンシップシステム」募集情報ページに掲載されています。

**保険** 参加学生はインターンシップ保険（災害傷害保険・賠償責任保険など）に加入必須です。各学校を通じて学生への加入指導を行っています。

※ 2022 年度の実施概要に関しましては、  
『2022 年度 企業・学校向けマニュアル』をご確認ください。

## 新型コロナウイルス感染症への対策

### ①事務局の主催イベントについて

会場とオンライン（Zoom・YouTube など）とのハイブリッド開催を基本としています。  
 対面開催では、ソーシャルディスタンス確保のため参加者数を会場定員の半数以下に設定し、  
 事前に体調チェック項目と注意事項を案内したうえで、当日は来場時の検温・手指の消毒・マスクの着用を依頼しました。

### ②インターンシップについて

兵庫県による新しい生活様式「ひょうごスタイル」をもとに当インターンシップ事業のガイドラインを策定し、インターンシップ開催・参加時の判断目安として案内しました。

### ③インターンシップ開催条件の特例について

2020年度に引き続き、インターンシップ事業の運営方法に関する特例を設定しました。

**対象期間** 2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木)  
 →コロナ禍に限定して、2022年度も継続いたします。

#### 特例：一部開催条件の変更

■変更前：就業体験を伴う2日間以上のインターンシップ



■変更後：就業体験を伴うインターンシップ

※採用に直結するものではなく、「就業体験」という趣旨を前提としたうえで、

- ①開催日数・時間数の条件なし。
- ②就業体験に準じるプログラムを実施可能な場合は、オンラインによる「リモート開催」も可とする。

#### 補足：1日間の開催について

- ・従来のインターンシップと区別するため、「1day 仕事体験」と表記する。
- ・就業体験（ロールプレイングも可）を含むプログラムとする。
- ・2022年卒、2023年卒生のみを対象とした募集は不可とする。
- ・企業⇄学校間の覚書などの書類締結を原則不可とする（学生本人とは締結可）。

企業・学生の皆さまへ  
 新型コロナウイルス感染拡大防止対策  
 実施のお願い

安心・安全なインターンシップ開催のため、ご理解とご協力をお願いします。

検温の実施	マスクの着用
こまめな手洗い・手指の消毒	ソーシャルディスタンスの確保
持参した飲食物の持ち帰り	定期的な換気
ガイドラインの確認	事務局との情報共有

※上記の対策と併せて、厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCA)」の活用を推奨します。

兵庫県経営者協会インターンシップ事務局  
 [TEL]078-321-0294 [E-mail]internship@hpea.jp

2021年度  
 インターンシップ開催・参加ガイドライン

兵庫県経営者協会インターンシップ事務局(以下事務局)では、企業・学生の皆さまに安心して取り組んでいただけるよう、兵庫県の新たな生活様式「ひょうごスタイル」をもとにガイドラインを策定しました。

<基本方針> ※完全リモート(WEB・オンライン)開催を除く

▼インターンシップ2週間前～終了まで

① 出入企業担当者/参加学生が下記チェック項目のいずれかに当てはまる場合は、事務局までご連絡いただき、【企業】延期/中止/【学生】参加の取りやめをお願いします。

✓チェック項目

- ◇ 平熱を超える発熱がある(おおむね37.5℃以上)
- ◇ 体調不良の症状が見られる
- 例: 咳・くしゃみ・鼻水・喉の痛み等の風邪の症状  
 だるさ(倦怠感)、鼻詰り、嗅覚や味覚の異常、疲れやすい等
- ◇ ご自身・ご家族や身近な人に新型コロナウイルス感染症が疑われる人がいる
- ◇ ご自身・ご家族や身近な人に海外から2週間以内に入国した人がいる

② 新型コロナウイルス感染症拡大や災害等の状況により、【企業】延期/中止/【学生】参加の取りやめ、の判断をされた場合は、事務局までご連絡ください。

※ その他にも、事務局が延期・参加延期と判断した場合は、延期や中止をお願いすることがあります。安全確保のため、ご理解とご協力をお願いします。

▼インターンシップ開催期間中

兵庫県の新たな生活様式「ひょうごスタイル」に基づいた感染拡大防止対策をお願いします。

- (1) 「3密」(密閉・密集・密着)の回避
- (2) 身体的距離(ソーシャルディスタンス)の確保(できるだけ2m、最低1m)
- (3) マスクの着用(※)、咳エチケットの徹底  
 ※夏場は熱中症リスクを考慮し、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合は、マスクをはずします。
- (4) 手洗い・手指消毒(※)は30秒程度、石けん・消毒薬の利用
- (5) 体温測定・健康チェック(熱や風邪の症状がある時は自宅で療養)
- (6) 発症時やラスタスター発症時に備え、いつ誰とどこで会ったかを記録  
 ※厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCA)」の活用を推奨します。

▼インターンシップ終了後～2週間以内

発熱や体調不良の症状が見られる場合は、事務局まで緊急ご連絡ください。

皆さまのご理解・ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

兵庫県経営者協会インターンシップ事務局  
 [TEL]078-321-0294 [E-mail]internship@hpea.jp

## インターンシップ 実施状況

### 2021年度 スケジュール

インターンシップ実施に関する各種手続きは、マッチングサイト「兵庫県インターンシップシステム」上で管理しています。  
 システムでは通年(4月上旬～翌年3月末)でインターンシップ募集・参加を受け付けていますが、ここでは開催数が最も多い「夏期」を中心にご報告します。

「兵庫県インターンシップシステム」[URL] <https://hyogo-internship.jp>

※ 2022年度のスケジュールに関しましては、随時「兵庫県インターンシップシステム」を通じてご案内します。

	事務局	企業	学校	学生
4月	4/12システム稼働 学生周知学内 ガイダンス参加	①登録情報更新 or 新規登録	①登録情報更新 or 新規登録	①利用登録
5月	〈企業〉【夏期】 共通の募集締切を設定 ①6/4 ②6/11	②募集公開	②学生周知	②エントリー
6月	〈学校・学生〉【夏期】 「募集企業一覧表」送付	③学生選考		③受入可否確認
7月	〈学生〉6/6 「ひょうご企業と学生との オンライン交流会」開催	④連絡調整 ⑤覚書締結 (必要な場合のみ)	学生サポート ③覚書締結 (必要な場合のみ)	④連絡調整・参加日程登録 ビジネスマナーセミナー (希望者のみ)
8月	〈学生〉7/4 「ビジネスマナーセミナー」 「アンバサダー 事前ミーティング」開催	募集推奨期間 【夏期】7～9月		
9月	〈学生夏期休暇〉インターンシップ実施			
10月	〈学生〉10/3 「アンバサダー報告会」開催	随時①～⑤		
11月	〈学生〉11/20 「保護者のための 就活応援セミナー」開催	募集推奨期間 【春期】1～3月	随時①～③	随時①～④
12月				
1月	インターンシップアンケート実施			
2月	〈学生春期休暇〉インターンシップ実施			
	2/18「2022年度インターンシップ説明会」開催			
	報告書発行			
3月				
	システム更新			
4月				

## 2021年度の取り組み

### 学生向け 低学年向けプログラム「ひょうごアンバサダーインターンシップ」

大学などの低学年を対象に、インターンシップを通じて県内企業の魅力発見を促し、学生の「仕事理解」や「プレゼンテーションスキル」の習得を目指すプログラムを実施しました。

<p>企画概要</p>	<p>インターンシップの前後に「目標設定」と「振り返り」の研修を挟み、短期間の就業体験に留まらず、学びの成果を今後の学生生活につなげられるような構成としました。 「プレゼンテーションスキル」習得に向けては、インターンシップ体験後、学生には個人・グループワークで「体験内容の評価」と「企業の魅力がより伝わるプログラム提案」に取り組んでもらい、10月の「アンバサダー報告会」にてプレゼン大会を実施しました。 各学生からの提案内容は、終了後に事務局から各受入企業へフィードバックしています。</p> <p>〈企画の流れ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 7/4 (日)：「事前ミーティング」 顔合わせ+意識付け ↓ 【個人ワーク】 目標設定・企業研究</li> <li>② 8～9月：それぞれの希望企業でインターンシップ体験 ↓ 【個人ワーク】 プログラムの振り返りと改良案の検討</li> <li>③ 10/3 (日)：「アンバサダー報告会」 グループワーク+グループ対抗プレゼン大会</li> </ul>
<p>受入企業</p>	<p>【募集】 19社 → 【受入決定】 12社 ※各学生の希望をもとに事務局側でマッチングを行いました。</p> <p>〈受入企業〉 ※コロナによる開催中止分も含む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)きぬや：3名</li> <li>・(株)三協パーツ商会：2名</li> <li>・(株)ダイネンヒューマンplus (就職サイトはりまっち)：5名</li> <li>・(株)タカプラ：3名</li> <li>・(株)デイサービスセンターうららか：2名</li> <li>・(株)電建：4名</li> <li>・トラストメディカル(株)：1名</li> <li>・日東コンピューターサービス(株)：1名</li> <li>・(一財)兵庫県雇用開発協会：5名</li> <li>・(株)ベネスト：1名</li> <li>・(株)ホンダカーズ兵庫：4名</li> <li>・防衛省 自衛隊兵庫地方協力本部：2名</li> </ul>
<p>参加学生</p>	<p>【エントリー】 34名 → 【参加】 33名 ※エントリー学生全員が参加できるよう調整を行いました。</p> <p>〈学生所属校〉 ※大学1～2年生 ※コロナによる開催中止分も含む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪経済大学：1名</li> <li>・関西国際大学：11名</li> <li>・神戸海星女子学院大学：1名</li> <li>・神戸学院大学：1名</li> <li>・神戸市外国語大学：2名</li> <li>・神戸女学院大学：1名</li> <li>・神戸女子大学：2名</li> <li>・兵庫県立大学 姫路環境人間キャンパス：4名</li> <li>・武庫川女子大学：10名</li> </ul>
<p>事前ミーティング</p>	<p>【日 時】 2021年7月4日(日) 10:00～13:00 【会 場】 スペースアルファ三宮 【参加者】 学生30名/学校教員1名/企業3名 ※当プログラム外からの参加学生1名を含む。 【プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 開会挨拶：事務局</li> <li>(2) アンバサダー自己紹介</li> <li>(3) 受入企業による自社紹介：(株)ダイネンヒューマンplus / トラストメディカル(株) / (株)ベネスト</li> <li>(4) 先輩社会人のインターンシップ体験談：(株)ダイネンヒューマンplus</li> <li>(5) 各グループによるミーティング・目標設定</li> </ul>
<p>アンバサダー報告会(事後研修)</p>	<p>【日 時】 2021年10月3日(日) 13:00～16:30 【会 場】 オンライン開催 (Zoom ミーティング) 【参加者】 学生23名/学校教員2名 ※当プログラム外からの参加学生1名を含む。 【プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 開会挨拶：事務局</li> <li>(2) グループワーク①個人発表</li> <li>(3) 感想・意見などを全体共有</li> <li>(4) グループワーク②プレゼン準備</li> <li>(5) グループ対抗プレゼン大会</li> <li>(6) アンバサダーアワード発表・総評：事務局</li> </ul>

### 参加学生の声

「事前ミーティング」では他の参加者からレベルの高い意見や発表を聞き、参考にしよう、自分も頑張ろうと意識がとて高まりました。インターンシップだけでなくこういうプログラムがあるのは、不安も減り、刺激になるので、とても良かったです。



「アンバサダー報告会」では、体験内容の発表だけでなく、そこから発展させて改善点や新たなプログラム案まで考えるという内容だったので、グループでの話し合いがより充実したように思います。また、他の企業のインターンシップに行った人達の話も聞くことができ面白かったです。



### 学生向け Kiss FM KOBE インタビュー企画「ガクン NAVI」

兵庫県のFMラジオ局 Kiss FM KOBE 協力のもと「Kiss Music Presenter」番組内でインタビュー企画「ガクン NAVI」を放送しました。ひょうごの魅力ある企業の代表者や担当の「生」の声を、ヴィッセル神戸などで活躍した元Jリーガーの近藤岳登さんによるインタビュー形式でお届けしました。



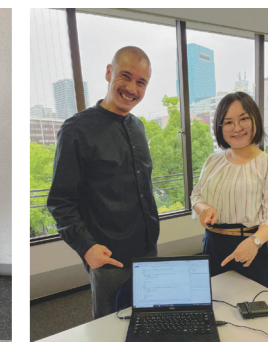
3/29 放送 (株)島田組



4/26 放送 (株)電建



5/31 放送 (株)アーリア



6/28 放送 (株)ベネスト

### 学生向け 「兵庫県インターンシップシステム」案内ムービー

事務局のYouTubeチャンネルを開設し、学生向けの案内ムービーを2本公開しました。



## 開催イベント

### 学生向け 企業向け 「ひょうご企業と学生とのオンライン交流会@ Zoom」

地元企業人と学生とが顔を合わせて、企業の魅力や仕事のやりがい、企業人の想いを直接「聞く」「語る」ことができる交流イベントを、今年度もオンラインで開催しました。

日時	6月6日(日) 13:00～16:00 ※途中入退室自由
プログラム	①参加企業スピーチ (10社×前・後編2回) ②交流タイム (各15分×5回) ※企業のZoomミーティングルームを学生が訪問し、企業による自社紹介の後、質疑応答や学生からの悩み相談などを通じて交流を行いました。
参加企業数 19社	(株)アリア (アリアグループ) / アスカカンパニー(株) / 金井ホールディングス(株) / (福)きらくえん / (株)シマブンコーポレーション / リハ・リハグループ (株)セラビット / (株)ダイネンヒューマン plus (就職サイトはりまっち) / (株)タカプラ / (株)TVE / (株)電建 / (株)トラストメディカル(株) / 日東コンピューターサービス(株) / (株)阪技 / (株)ビーイングホールディングス / (株)ベネスト / 宮野医療器(株) / 加古川市役所 / 兵庫県警察 / 兵庫県庁
参加学生数	〈事前申込〉全国84校262名 (大学生・短大生・高専生・専門学生 全学年対象) 〈訪問〉延べ493名 ※企業(16社) 平均15名

#### 参加学生の声

- 元々興味があった企業だけを訪問予定でしたが、スピーチを聞いて「もっと知りたい」と思える企業に出会うことができ、その後の訪問企業を選びやすかったです。
- 思っていたよりも企業数が多く、身近な物も製造されていたことに驚きました。これまで知らなかった企業を知るきっかけとなり、兵庫県の企業に就職したいと思いました。
- 実際に働いている人たちの表情や話し方、全体的な雰囲気を知れたことが、特によかったです。
- 他大学の人のインターンシップへの取り組み姿勢を知ることができてよかったです。
- 遠方からは知ることが難しいような企業の方々と出会えてよかったです。関西圏の企業を知る良い機会となり、視野が広がりました。(東京・九州の学生より)



### 学生向け 「保護者のための就活応援セミナー“ガクチカ”より大切なこと」(中小企業魅力発見ガイダンス)

昨年度に引き続き、大学生等の学生とその保護者を対象としたセミナーを開催しました。コロナ禍で生活が一変し、就活の定番質問である「ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)がない」という悩みをよく耳にします。当セミナーが、就活への不安解消やガクチカ不足を補えるような、ヒントを得られるきっかけになっていれば幸いです。

日時	11月20日(土) 10:00～12:30
プログラム	①基調講演『我が子の就職活動を機に考える「働く」って何?』 Kiss FM KOBE 兵庫エフエム放送(株) シニアセールスプロモーションディレクター 大竹氏 ②地元優良企業によるリアルトーク:トラストメディカル(株)/(株)阪技 ③兵庫県 就労支援事業のご説明 ④兵庫県経営者協会 大学生インターンシップ推進事業のご説明
参加者数	〈会場+当日Zoom〉25名 ※会場:スペースアルファ三宮 〈オンデマンドYouTube〉 11～12月再生回数:累計73回

#### 参加者の声

- 講師の方がリアルな母親目線で、よいお話をたくさんしてくださったので参考になった。
- 入社2年目社員の方から生のお話を聞いて、地元中小企業の良さがわかった。
- 働き方や勤務時間だけでなく、企業の考え方や採用時の重視点などが時代の流れで変わってきていることを知った。過度に不安にならず、人間性を磨くことが就活においても必要だと知った。
- この10年間で学生の就職観はほぼ変わっておらず、むしろ変化したのは企業側で、就活の場面で学生が本音(待遇や勤務条件の質問等)を話しても問題のない雰囲気になってきたという点に驚きました。
- 不採用になった場合のマインドの話が特に参考になりました。「その企業と価値観が合わなかっただけ」というプラスになる捉え方は初耳だったので、ためになった。



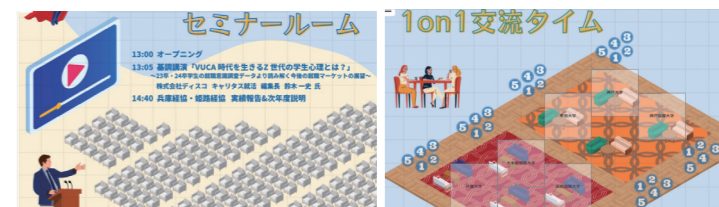
### 企業向け 学校向け 「2022年度 インターンシップ説明会」

次年度の方針や取り組みに関する「説明会」と、産学交流のための「情報交換会」をオンラインで開催しました。オンラインイベントを今後どのように発展できるか探る意図もあり、今回はweb上のバーチャル空間「oVice(オヴィス)」で初開催したところ、課題も多く見つかりましたが、まるで現実世界のような感覚でコミュニケーションを楽しんでいただくことができました。

#### 参加者の声

- VUCA時代の採用に関するトレンドや、Z世代の価値観等を詳しく知ることができ、非常に勉強になりました。特に「背景」「意味」を重視するという点で、どうしてこの事業を行っているのかというストーリーも話っていくことが大切だと感じました。
- 組織の目標設定・方針管理等において、従来のミッション・ビジョンに加え、Z世代に向けては「パーパス」という新たなコンセプトが必要であることを痛感し、共感しました。
- バーチャル空間での参加は初めてでしたが、分かりやすく特に問題なくお話しすることができました。対面でのやり取りと大きく変わることがないように感じました。

日時	2022年2月18日(金) 13:00～16:30
参加者数	〈企業〉72名 (関係機関含む) 〈学校〉36名
プログラム	①基調講演「VUCA時代を生きるZ世代の学生心理とは?」 ～23卒・24卒学生の就職意識調査データより 読み解く今後の就職マーケットの展望～ (株)ディスコ キャリタス就活 編集長 鈴木氏 ②兵庫県経営者協会・姫路経営者協会による実績報告・次年度説明 ③企業と大学との情報交換会(1on1交流タイム/フリー交流タイムの2部制) ※「1on1交流タイム」では、各学校のルームを企業に訪問いただき、情報・意見交換や名刺交換により交流を深めていただきました。
情報交換会 参加学校 19校	〈各学校ルームへの訪問企業数〉延べ96社 ※調査回答校 平均約6社 芦屋大学 / 大手前短期大学 / 関西国際大学 / 甲子園大学 / 甲南大学 / 神戸大学 / 神戸国際大学 / 神戸市外国語大学 / 神戸松蔭女子学院大学 / 神戸女子大学 / 神戸女子短期大学 / 日本経済大学 / 武庫川女子大学 / 同志社女子大学 / 大阪産業大学 / 大阪電気通信大学 / 関西大学 / 摂南大学 / 環太平洋大学



### 学生向け 事前研修「ビジネスマナーセミナー」

ビジネスマナーの基礎習得と、ゲーム感覚で楽しく取り組める自己分析を通じて、インターンシップや今後の就職活動に向けての心構えを身に付けられる研修を開催しました。

リアルタイム参加 (Zoom)・オンデマンド配信 (YouTube) どちらか選択制として、リアルタイム開催ではグループワークも盛り込んだところ、学生間の交流にもなり大変好評を得ることができました。

日時	7月4日(日) 13:30～16:00	講師	(株)SORA 代表取締役 角本氏
プログラム	ビジネスマナーの基礎習得・実践練習/自己理解のワーク/グループワーク など		
参加学生数	〈当日Zoom〉28名	〈オンデマンドYouTube〉	7～9月再生回数:累計234回

#### 参加学生の声

- 相手を思って行動することや、一言添えて気持ちを伝えることが大切だということを知ることができました。「失礼になるのでは」「こういう場合はどうすればよいのか」と疑問に思うことが多かったため、大変参考になりました。
- 私の目標や身につけなければならないことを再確認でき、また自身の新たな一面にも気付くことができました。まだ就職まで時間はあるが、学んだことや今後気を付けなければならない点を意識して成長したい。
- オンラインであっても、個人でできる実践(お辞儀の練習)やグループワークなど、楽しんで学ぶことができました。
- グループのメンバーが慣れた様子でタイムキーパーを申し出たり、話し合いを仕切っていたり、1分間での話の構成が上手だったりして驚き、「同じ学年なのに凄いな、こんな風に話せるようになりたい」とモチベーションが上がりました。



## 企業向け勉強会

6～10月 YouTube オンデマンド配信

### 「企業も学生も満足するオンラインインターンシップの具体的な作り方」

「オンラインインターンシップ」が浸透する一方で、業務体験や社員との交流時間が対面開催よりも短く、学生からの満足度が伸び悩んでいるというお話をお聞きます。当セミナーでは、大学講師として日頃から学生と接している講師による具体的な解説を通じて、コロナ禍の学生の状況や、企業の魅せ方、オンラインでのインターンシッププログラムの作り方について、インターンシップ・採用ご担当者様がヒントを得られるような内容を盛り込みました。

講師	CDA ひらやま事務所 代表 平山 氏
プログラム	<p>〈各部 約 30分×全 4部構成〉</p> <p>①「2022～2023年卒の学生の状況～リアルな学生の声～」</p> <p>②「今の学生が魅力を感じる企業とは？」</p> <p>③「効果的なオンラインインターンシップの具体的な方法～プログラム作りから配信上の注意点について～」</p> <p>④番外編「自社に合った人材の見極め方」</p>
視聴数内訳	① 135回 / ② 95回 / ③ 72回 / ④ 62回 / 【合計】 364回



### 「動画で魅力発信！～自社紹介動画の作り方講座～」

自社の魅力発信の手段にはSNSをはじめとした様々なツールがありますが、近年、学生からは「文章よりも動画の方が、企業の雰囲気や魅力が伝わりやすい」と聞くことが増えました。そこで、今回の勉強会は「自社の魅力を動画で発信すること」をテーマに設定し、日頃から学生と接している講師の方から、学生の特徴や傾向に沿った魅力発信の手法について、実践も多く盛り込んでレクチャーいただきました。

日時	2022年3月10日(木) 13:30～16:00	会場	兵庫県経営者協会 会議室
講師	帝塚山学院大学 リベラルアーツ学科 専任講師 佐藤 氏		
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画で魅力を発信する意味とは？</li> <li>・動画作りの基礎</li> <li>・体験ワーク（撮影、編集、文字入れ、保存） など</li> </ul>		
参加者数	10名		



## インターンシップ協力企業・学校一覧

### インターンシップ募集企業 学生実績内訳 (企業→官公庁 50音順)

【登録企業】 276社 うち 【募集企業】 53社 (52社 + アンバサダー)

2022年2月末時点

企業・団体名	エントリー	参加決定	企業・団体名	エントリー	参加決定
(株)アーリア (アーリアグループ)	5	5	平田建築設計(株)		
アスカカンパニー(株)	8	1	(株)ベネスト	1	
(株)オカモト・コンストラクション・システム			(株)正光		
(株)カコテクノス	2	2	(株)松田ポンプ製作所		
金井ホールディングス(株)【金井重要工業・トクセン工業】			ミツ精機(株)	2	2
(株)香山組			三菱電機コントロールパネル(株)	1	1
(株)木内計測			(株)明和工務店		
(株)きぬや	2		菱星システム(株)		
旭光電機(株)			(株)YK 商会	1	1
(福) きらくえん	3	3	和田山精機(株)		
キンキテレコム(株)			加古川市役所	78	35
桑村繊維(株)	1	1	兵庫県警察	160	57
(公財) 神戸市公園緑化協会	3	3	兵庫県庁	307	186
(株)神戸マツダ	3	3	兵庫労働局 ハローワーク	3	3
(株)コスモ			防衛省 自衛隊兵庫地方協力本部	3	3
シバタ工業(株)			<b>ひょうごアンバサダーインターンシップ</b>		
(株)島田組	4	4	(株)アーリア (アーリアグループ)	34	
(株)清水設計事務所			(株)オカモト・コンストラクション・システム		
(株)大聖住宅	1		金井ホールディングス(株)【金井重要工業・トクセン工業】		
大日グループ(大日通信工業(株)/大日電子(株))			(株)きぬや		3
(株)ダイネンヒューマン plus (就職サイトはりまっち)	2	2	(株)三協パーツ商会		2
(株)タカプラ	1	1	(株)ダイネンヒューマン plus (就職サイトはりまっち)		5
(株)TVE			(株)タカプラ		3
トラストメディカル(株)			(株)デイサービスセンターうららか		2
長田産業(株)	1	1	(株)電建		4
西宮北口歯科口腔外科	2	2	トラストメディカル(株)		1
日新信用金庫	10	9	西宮北口歯科口腔外科		
日東コンピューターサービス(株)	8	3	日東コンピューターサービス(株)		1
日本技術サービス(株)			橋本建設(株)		
橋本建設(株)	1	1	長谷川電機工業(株)		
(株)濱本ジェネラルコーポレーション			阪神測建(株)		
原田建設(株)			(一財) 兵庫県雇用開発協会		5
阪神測建(株)			(株)ベネスト	1	
ビーイングホールディングス(株)	1	1	(株)ホンダカーズ兵庫	4	
(株)兵庫警備保障			和田山精機(株)		
(公財) 兵庫県勤労福祉協会	2	2	防衛省 自衛隊兵庫地方協力本部	2	
(一財) 兵庫県雇用開発協会	1	1	<b>合 計</b>	651	366

※全て延べ人数 ※コロナによる中止分も含めた実績を掲載

## ■ インターンシップ利用校 学生実績内訳 (エリア別 50音順)

【登録学校】216校 うち【学生登録のあった学校】142校

2022年2月末時点

エリア	学校名	登録	参加決定	エリア	学校名	登録	参加決定	エリア	学校名	登録	参加決定
兵庫	明石工業高等専門学校	12	6	東京	法政大学	1	1	大阪	関西大学	35	14
	芦屋大学	2	1		早稲田大学	5	2		関西外国語大学	5	1
	大手前大学	2			東海大学	2			近畿大学	24	5
	大手前短期大学	2	1		横浜国立大学	1	1		堺女子短期大学	1	
	関西国際大学	21	14	新潟	新潟医療福祉大学	1			四天王寺大学	1	
	関西福祉大学	4		富山	富山大学	1			摂南大学	3	1
	関西学院大学	48	20	石川	富山県立大学	1			帝塚山学院大学	1	
	吉備国際大学	1		山梨	石川県立大学	1	1		梅花女子大学	1	
	甲子園短期大学	3		長野	金沢大学	2	1		阪南大学	2	
	甲南大学	48	24	愛知	都留文科大学	2			桃山学院大学	5	3
	甲南女子大学	2		三重	山梨大学	1		大和大学	2		
	神戸大学	45	8	滋賀	信州大学	1	1	帝塚山大学	7	3	
	神戸海星女子学院大学	6	2	京都	中京大学	1		天理大学	1		
	神戸学院大学	93	24	奈良	日本福祉大学	1	1	奈良大学	8	2	
	神戸芸術工科大学	2	1	和歌山	名城大学	1		奈良女子大学	1	1	
	神戸国際大学	24	2	鳥取	三重大学	8	2	和歌山大学	2	1	
	神戸市外国語大学	17	7	島根	滋賀大学	1		鳥取大学	13	8	
	神戸松蔭女子学院大学	13	4	岡山	滋賀県立大学	4	2	鳥取環境大学	1	1	
	神戸女学院大学	31	7	広島	びわこ成蹊スポーツ大学	1		米子工業高等専門学校	1	1	
	神戸女子大学	51	6	山口	大谷大学	1		島根大学	10	2	
神戸女子短期大学	4		徳島	京都大学	6	3	島根県立大学	1	1		
神戸市立工業高等専門学校	3	3	香川	京都外国語大学	3		岡山大学	26	10		
神戸親和女子大学	6	2	愛媛	京都光華女子大学	1	1	岡山県立大学	1			
神戸薬科大学	7		高知	京都芸芸繊維大学	1	1	岡山理科大学	2	1		
姫路獨協大学	6	2	福岡	京都産業大学	10	4	環太平洋大学	1			
兵庫大学	8	6	長崎	京都女子大学	5	1	尾道市立大学	2			
兵庫 県立 大学	明石看護キャンパス	2		大分	京都先端科学大学	1		広島大学	8	4	
	神戸商科キャンパス	70	26	鹿児島	京都橘大学	2		広島修道大学	1	1	
	播磨理学キャンパス	5	4	沖縄	京都府立大学	4	2	下関市立大学	4	1	
	姫路環境人間キャンパス	17	9	鹿児島	京都文教大学	1	1	山口大学	7	2	
	姫路工学キャンパス	6	2	徳島	同志社大学	11	2	山口県立大学	1		
	武庫川女子大学	38	13	徳島	同志社女子大学	5	3	四国大学	5		
流通科学大学	14	1	香川	花園大学	1		徳島大学	10	5		
北海道	北海道大学	4	2	香川	福知山公立大学	1		徳島文理大学	1		
青森	弘前大学	1	1	愛媛	佛教大学	5		香川	香川大学	10	5
宮城	東北大学	1		高知	龍谷大学	14	3	愛媛	愛媛大学	3	1
茨城	筑波大学	2	1	高知	立命館大学	21	9	高知	高知大学	8	3
埼玉	駿河台大学	1	1	大阪	大阪大学	12	6	高知	高知県立大学	2	
千葉	千葉大学	1		大阪	大阪学院大学	4	2	高知	高知工科大学	2	
東京	上智大学	1	1	大阪	大阪教育大学	5	3	福岡	北九州市立大学	3	
	創価大学	7		大阪	大阪経済大学	24	5	福岡	九州工業大学	3	2
	中央大学	3	2	大阪	大阪経済法科大学	13	3	福岡	福岡大学	1	
	東京大学	3	2	大阪	大阪工業大学	8	4	長崎	長崎大学	4	1
	東京農業大学	2		大阪	大阪産業大学	6	2	大分	大分大学	1	1
	東京農工大学	1	1	大阪	大阪樟蔭女子大学	1		鹿児島	鹿児島大学	1	1
	東洋大学	1		大阪	大阪市立大学	13	6	沖縄	琉球大学	2	2
	日本大学	1		大阪	大阪電気通信大学	2			(所属校不明)	1	
	日本文化大学	3	2	大阪	大阪府立大学	7	1	合計		1104	366

※参加決定数・合計数は延べ人数 ※複数のキャンパスから登録のある学校は本部所在地に実績の合計数を掲載  
※コロナによる中止分も含めた実績を掲載

## 企業・学校・学生アンケート結果

※全て回答者比

### 企業アンケート (回答数: 52)

#### Q1 オンラインによるインターンシップ開催や採用選考の対策

- 学生がリアルに会社の雰囲気や空気を感じ取れないため、**職場の動画や写真をできるだけ多く紹介、働くイメージを持ちやすいようにした。**
- 会社の雰囲気は伝えづらい反面、業務についての資料等をしっかりと説明できるため、仕事理解が進んだように思われる。
- 座談会はなるべく少人数のグループに分け、若手社員にも参加してもらうことで話しやすい雰囲気づくりをした。
- 学生とのコミュニケーションについては、Zoomのリアクション・チャット機能で反応してもらい、カメラは常時ONをお願いしたところ、効果的であったように思う。
- **アイスブレイクを対面よりも長めに設定し、リラックスして臨めるように工夫した。**
- 今回は交流会のみ実施したが、自社説明はできるだけ省き、学生が興味を持てる内容を重視した。
- 就職活動のオンライン化に合わせて、インターンシップも業務体験や職場・工場見学、社員同行や会議出席等、

難しいがオンラインでのプログラムを充実させていかなければならない。

- オンライン中心の選考では学生の人柄を見る機会が少なくなってしまうため、**今後は若手社員と話ができる機会等、働くイメージを掴んでもらえる機会や繋がりの場を多く作りたい。**

- 会社説明会や採用選考、ガイダンス等はオンラインでも開催可能と考えるが、**就業体験は対面で体感してもらいたいので、インターンシップについてはハイブリッド開催を今後検討したい。**

- オンラインは廃止し、**少人数に限定して複数回に分けて対面で実施した。**

- オンラインでは全てを伝えず、改めて対面で参加してもらうよう促している。

インターンシップは昨年度と比べてオンラインでの開催計画や対面からの切替えもスムーズであった印象(2割)ですが、全体では対面のみでの開催(4割)もしくは中止(2割)された企業も多く、コロナ禍での就業体験には課題が残りました。

#### Q2 インターンシップエントリー学生の特徴の変化

- 対面開催時は近隣学生のみであったところ、**オンライン開催ではUターン希望者を含む遠方からの参加もあり、多くの学生を受入れることができた。**
- 「オンラインでのインターンシップに満足していない」という声をよく聞くようになった。
- **対面を希望する学生が意外と多く感じられ、参加者が増えた。**
- 募集時には対面開催を想定していたが、大阪や京都など

遠方の学生からもエントリーが増えた。

- 「中止が相次ぐなか、やっと対面開催のインターンシップに参加できた」と話してくれる学生がいた。

- **低学年からの問い合わせが増えた。**
- 1day 仕事体験を開催したところ、文系学生からの問合せが増えた。
- ここ数年なかったが、高専生からのエントリーがあった。

#### Q3 学校へのご意見・ご要望

- インターンシップで学生に経験してもらいたいポイント等、**学校からアドバイスを頂きたい。**
- 特に夏期については**可能な限りインターンシップを見学していただき、「大学推薦プログラム」として紹介いただければ、懸命に取り組んでいる企業が報われるように感じる。**
- 企業名だけでなく、プログラムでインターンシップ先を選ぶ学生を増やしてほしい。
- 事前にホームページを見てもらい、できるだけ学生自身が興味を持って行先を選んでくれることが望ましい。
- 学生には**目的意識を明確に**したうえで参加してもらいたい。
- 引き続き学生には、ビジネスマナー等の基本研修をしっかり受講してもらいたい。
- 採用とインターンシップとの連携についてご意見をうかがいたい。

- 中小企業は**インターンシップに限らず「情報発信」を課題としており、**学生が興味を持ってくれるような話はネット上では公開できない内容も多く、発信したいができないジレンマを抱えている。例えば、大学側で設定いただいたテーマに沿って企業がコンテンツを用意したり、パネルディスカッションのようにお話しさせていただいたりすることも可能ではないか。それを通じて学生が自社に興味を持ってくれれば嬉しく思う。
- 「広い視野を持つ」「異業種に挑戦する」ことも就活やキャリアを考える上で経験値となるのは間違いないと思うが、一度に少人数のみ受入れる企業については、「その業種に強い興味がある」「学びたい目的がある」学生を優先的に勧めていただきたい。

※全て回答者比

学校アンケート (回答数: 75)

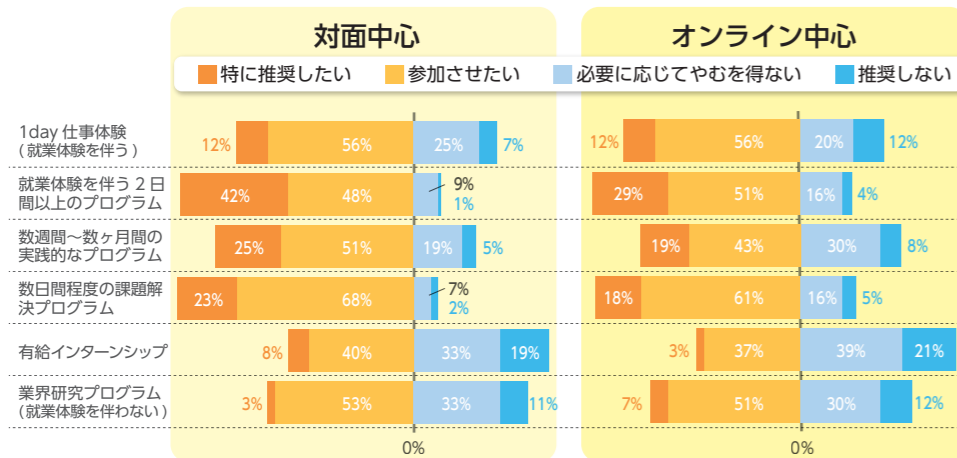
Q1 インターンシップ・就職活動に対する学生の動向や相談内容の変化

- 来学の機会が減り学生同士での動向がわからないよう  
で、積極的に動く学生と、不安にも関わらず行動を起こ  
せない学生の二極化がさらに顕著になった。
- 先輩との関係が希薄な学生が多いため、先輩の就職体験  
談を扱ったガイダンスが好評であった。
- インターンシップ実施方法(対面・オンラインどちらがいいのか等)  
や、同級生の就活状況(周りの人はいつ頃から始めているのか、  
どの時期に内定を貰っているのか等)に関する質問が増えた。
- 早期選考が増え、学生もインターンシップ=就職活動と  
捉えており、「参加しないと選考に進めない」というイメ  
ージが増したように思う。またインターンシップに参加で  
きなかった学生は強く焦りを感じている印象である。
- オンライン開催の相談(服装、参加場所、機器、面接・ES・自己  
PR動画対策等)が増え遠隔地の企業を受ける学生が増えた。
- オンライン開催について学生からは、効率的に多く参加  
しているという話や、一方で日数やできることが限られ  
るため避けているという話を聞いた。
- 対面でのインターンシップを希望する学生が多い。
- インターンシップを探している低学年が増え、就活に関  
する相談も増加した。
- コロナ禍により体験できる内容が激変し、社会との接点が  
減ったことで職業観の意識の広がりや狭まり、学生から「ど  
んな仕事かしたいのかわからない」という相談が増えた。
- 課外活動の機会がほとんど無いため、「授業外で何かに取り  
組みたい」、「機会がほしい」と考える学生は増えたよう  
に感じる。また、自己開拓の努力をする学生も多かった。
- 先行きの不安から安定志向が強まり、業界や企業の安定  
性を気にする学生が増えたように感じる。

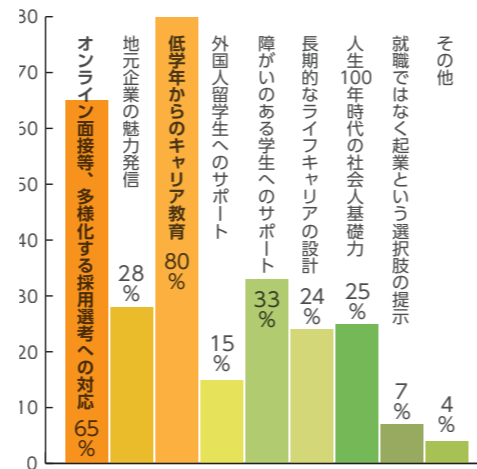
Q2 企業へのご意見・ご要望

- 大学は産業界とのつながり強化がますます必要になっ  
ており、今後も連携に協力いただきたい。
- オンライン併用等により、可能な限り就業体験ができる  
ような対面プログラムをお願いしたい。
- 大学としては対面 5日間以上の就業体験型を推奨したい  
が、希望学生は近年減少傾向である。告知方法、学生の  
考え方の変化、コロナ禍等、原因は掴めていないが、引  
き続き開催にご協力いただきたい。
- オンライン開催にも豊富なプログラムがあるとありがた  
い。グループワークに加えて社員との座談会や社内映像  
の中継等組み込んでいただき、学生にはインターンシッ  
プ=就業体験という認識で参加させたい。
- 学生本人や大学へのフィードバックを豊富に頂きたい。
- 開催日程やスケジュールについて、事前に詳しく公開し  
ていただきたい。
- 選考に繋がるものと、キャリア教育を目的としたものとでなか  
か見分けがつかず、混乱する学生も少なくないように感じる。
- 地方学生は合同説明会への参加など企業研究の際、都会の  
学生よりも旅費交通費など費用が多くかかる。オンライン  
によりコストは削減されたが、第一印象で差をつけにくい  
など対面と比べてマイナス面も多い。差を埋めることは難  
しいが、地方学生へのフォローがあればありがたい。

Q3 学生に推進したいインターンシップ



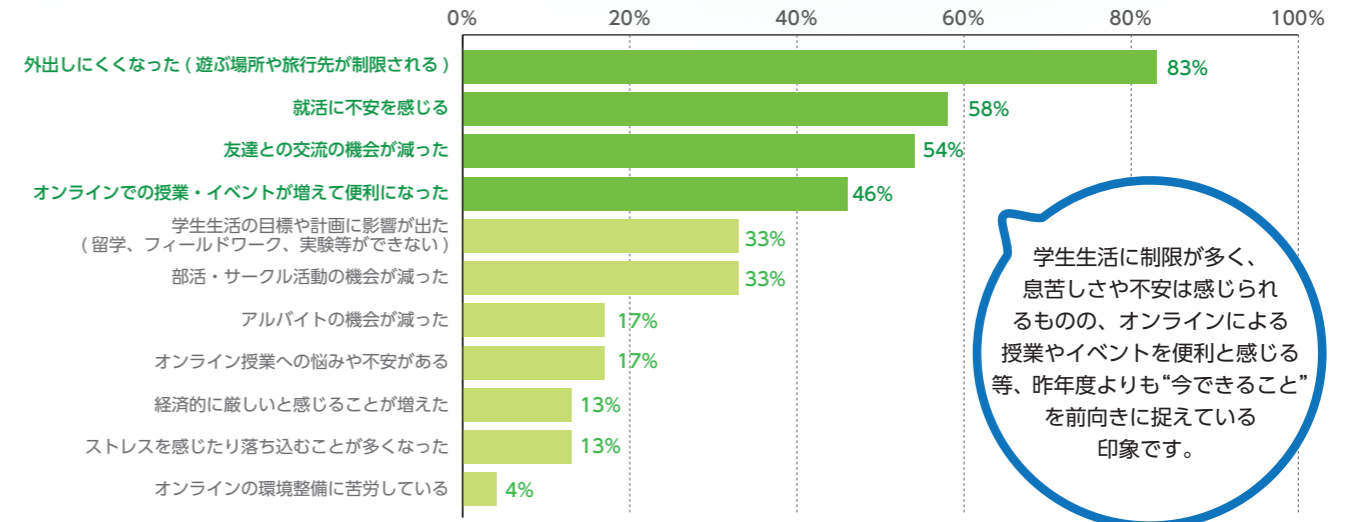
Q4 今後のキャリア支援で特に対策が必要なもの ※最大3点選択



※全て回答者比

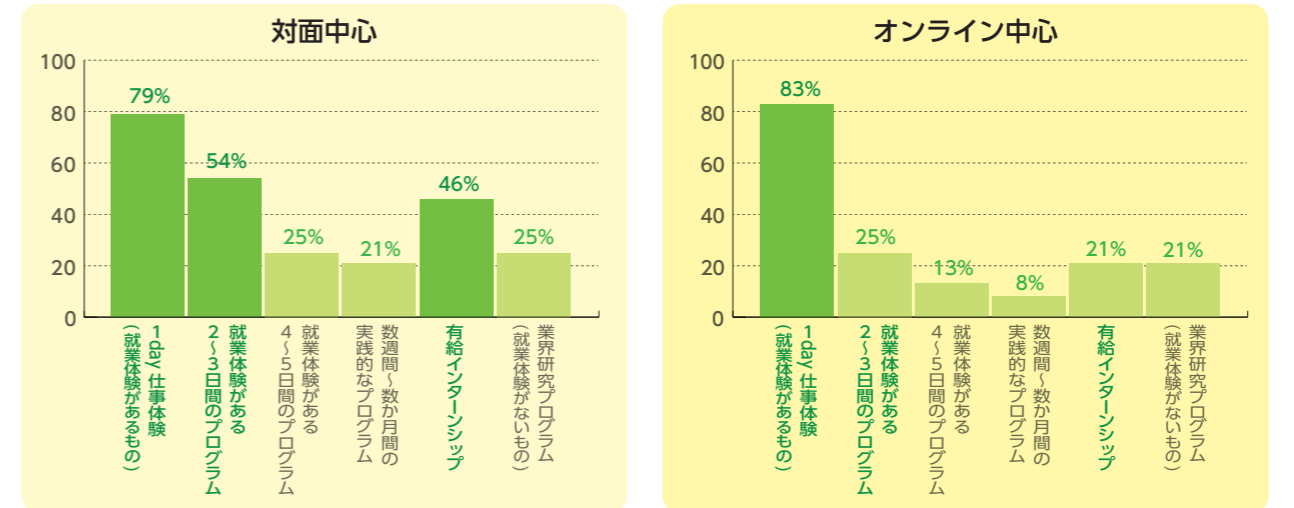
学生アンケート (回答数: 24 / 内訳: 大学1~2年生 46%, 3年生 46%, 5年生・院生 8%)

Q1 コロナ禍で特に影響を感じているもの ※3つ選んで回答



学生生活に制限が多く、  
息苦しさや不安は感じられ  
るものの、オンラインによる  
授業やイベントを便利と感じる  
等、昨年度よりも“今できること”  
を前向きに捉えている  
印象です。

Q2 参加したいインターンシップのプログラム ※複数回答可



Q3 オンラインインターンシップの感想とアイデア

- 交通費や移動時間がかからず、遠方からも参加できるた  
め、興味を持った分野の職業について気軽に学ぶことがで  
き、職業選択の幅を広げるきっかけとすることができた。
- 画面共有等の機能活用により思っていたよりもワークが  
捗り勉強になることが多く、また参加しやすいように工夫  
していただけたので良い体験となった。
- 画面オフで参加できるパートがあり、休憩をとりやす  
かった。
- 企業の方や他の参加者の方と話しやすく楽しい時間を過  
ごせた。
- 実際の企業の雰囲気がよく分からなかった点は残念だった。
- オンラインであっても少人数制にする等して、一人一人  
と向き合える環境を整えてほしい。
- パソコンの画面を長時間見ていなければならず、疲れが  
出てしまう点はやや参加しづらく感じた。
- 自宅で緊張感や集中力を保つためには、長すぎず短すぎ  
ず、飽きない時間設定が必要だと思う。
- 電波の問題で、相手の声が聞こえにくい時があったので、  
できれば直接参加したいと思った。